



2020. 9. 28

レンゴー(株)に対するポジティブ・インパクト・ファイナンスのシンジケートローンに参加

静岡銀行（頭取 柴田 久）では、SDGs への取り組みの一環として、レンゴー株式会社（代表取締役社長兼 COO 川本洋祐氏）に対する、総額 50 億円のポジティブ・インパクト・ファイナンスのシンジケートローンに参加しましたので、その概要をご案内します。

※ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済におよぼすインパクト(ポジティブな影響とネガティブな影響)を包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的とした融資。企業による SDGs 達成への貢献度合いを評価指標とし、その過程を情報開示することが最大の特徴です。
なお、本件に係るインパクト評価は、三井住友信託銀行が実施しています。

1. シンジケートローンの概要

- (1) 契約締結日／9月28日（月）
- (2) 実行日／9月30日（水）
- (3) 組成金額／50億円
- (4) アレンジャー・エージェント／三井住友信託銀行
 - ※アレンジャー/契約条件の調整、シンジケート団を組成する参加金融機関の募集、契約手続きなど、案件の取りまとめを行います。
 - ※エージェント/参加金融機関の代理人として、契約期間中の資金決済などの事務手続きを行います。
- (5) 資金使途／運転資金
- (6) 参加金融機関／16行（静岡銀行、阿波銀行、伊予銀行、大分銀行、鹿児島銀行、紀陽銀行、京都銀行、群馬銀行、七十七銀行、常陽銀行、千葉銀行、南都銀行、八十二銀行、福井銀行、三重銀行、三井住友信託銀行）

2. シンジケートローン組成の背景・目的

- レンゴー株式会社は、1909年に段ボール事業を創業以来、長い歴史を通じて培ったノウハウを活かして豊富な製品を提供するなど、国内外で幅広い事業を展開しています。
- 具体的には、6つのコア事業（製紙、段ボール、紙器、軟包装、重包装、海外事業）を中心に、あらゆる産業からの「人・社会・環境」に最適な包装ニーズに対して、総合的なソリューションを提供しています。
- また、「Less is more.」をキーワードとして、より少ない資源で大きな価値を生むパッケージの開発など、CO₂排出量の削減や資源の効率的な利用を通じて、持続可能な社会の実現に取り組んでいます。
- 静岡銀行では、本シンジケートローンに参加することで、SDGsの目標達成に資するレンゴー株式会社の事業活動を支援するとともに、今後とも、ポジティブ・インパクト・ファイナンスを含めた ESG 金融の推進に取り組んでいく方針です。

【ご参考】レンゴー株式会社の概要

所在地	大阪市北区中之島 2-2-7 中之島セントラルタワー	創業	1909年(明治42年)4月
資本金	31,066百万円	売上高	683,780百万円(2020年3月期、連結)